

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和6年 4月18日（木）

2 調査対象 第6学年児童48名

3 調査内容

（1）教科に関する調査（国語、算数）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

国語は、やや下回りました。
算数は、下回りました。

（2）児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
- 国語の勉強は好きですか。算数の勉強は好きですか
- ICT機器を活用することについて、「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」に当てはまりますか。

課題が見られた項目

- 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか。（塾・家庭教師との勉強、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では思考力・判断力・表現力等に関する問題に課題が見られました。本校では今後、下記の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・国語の授業では、自分の考えが伝わるように話し方や書き表し方を工夫する時間を設定し、表現力の向上を図る。
- ・算数の授業では、言葉や数・式を使って考えを表し、対話を通して問題解決を図る授業づくりをする。
- ・授業では「まとめ」と「振り返り」の時間を確保し、ICTを効果的に活用しながら学習内容の定着を図る。
- ・「かしまつ子確認テスト」を通して、基礎・基本の定着を図る。
- ・算数専科教員と連携して少人数指導を行い、児童個々にきめ細やかな支援・指導を行う。

6 保護者の皆様へ

児童の家庭学習及び読書時間の確保について、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

○家庭学習について・・・家庭学習の時間の確保と習慣化に向けた見守り。

家庭学習カードのチェックによる称賛や励まし。

○ICT機器との上手な付き合い方・・・使用時間も含めた家庭でのルールの確立。

○地域行事等への参加・・・さまざまな人とふれあう中での生活体験の充実。